

2 各種委員会報告

2.1 図書委員会

2010年度は委員会を5回開催した。各回の審議事項は下記のとおりである。

第1回(4月26日) ①2011年度各種委員会員の委嘱について②特別資料の選定について

第2回(6月18日) ①2011年度教育・研究計画書について

第3回(10月29日) ①2011年度予定経費要求について

②和泉地区分野別調整委員承認印の廃止について

第4回(1月27日) ①2011年度図書館予算と2011年度図書費配分

②2011年度研究用図書の申込締切日について

③2011年度図書館特別資料の募集について

④2011年度研究用基礎資料の募集について

⑤2012年研究用雑誌・新聞新規購入の募集について

⑥学術認証フェデレーションへの参加

⑦自己点検・評価報告書について

第5回(3月4日) ①明治大学図書館規程, 明治大学図書館管理規程および図書委員会規程の廃止, 制定について

以上に基づき実施された政策の特記事項として, 以下が挙げられる。

学術認証フェデレーションへの参加: 第4回⑥

2.2 電子資料委員会

2010年度は以下のとおり委員会を開催した。

第1回(5月28日) 新規学習用新聞・雑誌, バックナンバー選定。

第2回(7月5日) 新規研究用新聞・雑誌, 新規学習用新聞・雑誌, およびバックナンバー選定。

第3回(11月8日) 新規学習用新聞・雑誌, バックナンバー選定。新規契約電子資料の購入優先順位の選定。

第4回(3月1日) バックナンバー選定。

なお, 第4回バックナンバー選定においては, 試みとして, 本年度の円高差益等による図書館全体予算残の振替による費用充当での購入を行った。以上により, 研究用新聞・雑誌28誌(うち洋19誌, 和9誌), 学習用新聞・雑誌13誌(うち洋5誌, 和8誌), バックナンバー14誌(うち洋3誌, 和11誌)を新規契約・購入した。また, その他データベース等電子資料について4点の2010年度購入および2011年度より契約開始を選定した(選定内容は別項「新規契約電子資料一覧」の通り)。

2.3 特別資料選定委員会

4月20日に第1回委員会を開催し審議を行った。その結果, 応募資料3点の中から2点,

■ デイドロ・ダランベール「百科全書」パリ版 全35巻 1751-1780

■ ジャン＝フランソワ・シャンポリオン「エジプトとヌビアの記念物」初版 全4巻

を選定し, 図書館長了承の上で購入した。

2.4 アフリカ文庫選定委員会

6月29日に第1回委員会を開催し, 図書の選定を行った。また, イベントとして, 2010年4月より下記のスケジュールで「アフリカを読む」を開催した。

・駿河台(4月5日～4月28日) 図書館入口インフォメーションカウンター付近。リストのみ展示。

- ・和泉 (5月20日～) 2階階段上り口付近。リストのみ展示。
- ・生田 (6月18日～7月15日) 生田図書館 特集コーナーにて、特集「サッカーとアフリカ」に組み込んでリストと図書を展示。

2.5 江戸文藝文庫選定委員会

本年度は委員会を招集せず、メーリングリストによる会議の形式で協議・選定を行なった。その結果、購入した資料は以下の通りである。

- 情花奇語奴の小まん 柳亭種彦作・優遊斎桃川画 文化4年序刊
- 娘敵討扇銀面 南柚笑楚満人[作]・豊国画 [江戸後期]
- 草履打所縁色揚 山東京傳作・歌川美丸画 文化12
- 封文恵方吉書始 京山作・豊国画 文政4
- 俳優評判記[・ほか明治期の役者評判記9種] 植木林之助編[ほか]; [1878-?]
- 繪本夜船譚 速水春暁斎画 文化7
- 繪本二島英勇記 平賀梅雪 [作]・[速水春暁斎畫] 享和3
- 繪本報仇安達原 文亭主人著・石田蓼華畫 [江戸後期]
- 夏乃富士 山東庵京山讚・五渡亭國貞画 文政10

2.6 蘆田文庫選定委員会

例年どおり委員会開催は最小限にとどめ、古書店目録等による選書を委員相互に常時行い、必要に応じて相互の連絡により選定を行った。2010年度の主な収集資料を以下にあげる。

- 分道江戸大繪圖
- 懷寶江戸近郷全圖
- 松前蝦夷地一圓圖
- 蝦夷地紀行 / 渋江長伯
- 東京大小區分繪圖 / 松浦宏
- 蘆田伊人書簡(幸田成友宛)

なお、図書館紀要「図書の譜」において2003年から2005年までの新収資料目録を掲載したが、それ以降購入の資料目録を今後掲載する予定である。

2.7 日本近代文学文庫選書委員会

年度の初めに委員会を開催し、委員長の選出、日本近代文学文庫選書基準(案)の承認内容について確認した。

また、2010年度の選書方針・方法を決め、以後、資料の選定を7月と11月と2月に行い、佐藤春夫『絵本 FOU』(版画荘, 昭11), 江戸川乱歩, 池田満寿夫『屋根裏の散歩者』(豆本(真珠社, 昭34), 泉鏡花『日本橋』(千章館, 大3), 太宰治『駆込み訴へ』(月曜荘私版, 昭17), 堀口大学『月光とピエロ』(堀口大学, 大8), 石川道雄編『半仙戯』雑誌(半仙戯社, 大8-9)など計11点を購入した。

購入した資料は2011年度に中央図書館ギャラリーで展示・公開する。

2.8 ケベック文庫選定委員会

2010年6月16日に第一回ケベック文庫選定委員会を開催し、今年度は明治大学で計上した100万円の予算で購入するための図書を検討した。「ケベック文学100作品」に挙げられた図書の未購入分、ケベック州立図書館司書推薦図書の未購入分を購入するほか、Pierre Elliott Trudeau 関連図書、René Lévesque 関連図書を購入することとした。また、ケベック州政府より、予算の大幅カットにより図書購入助成金の提供は中止し、文庫のプロモーションのための費用2000ドルを提供することが提示されたが、選定委員会としては、これまでの図書購入を中心とした協定ではなく、文庫の維持支援を目的とした協定書に変えて締結、州政府との関係を維持することを確認した。

2.9 図書館基礎資料選定委員会

2月22日に第1回委員会を開催し、選定候補から購入資料を決定した。なお今回試みとして、本年度の円高差益等による図書館全体予算残の振替予算充当の上、図書館各文庫委員会からの推薦資料の購入をも行った。購入内容は別項「図書館基礎資料購入一覧」の通り(但し、各文庫推薦資料は別項各文庫報告に記載)。

2.10 図書館紀要編集委員会

第14号を刊行した(A5判,301頁,2010年3月31日刊行)。

2008年7月15日に編集委員会を開催し、第14号の編集方針について議論を行なった。

今号は、特別資料紹介、『蔵書の玉手箱』を中心に図書館の蔵書を紹介している。この他、特色GP海外大学図書館視察報告、杉並区図書館ネットワーク講演会、中央図書館ギャラリーの活動報告や、「文学部第一回読書感想文コンクール」、「知の森:商学部教員が商学部生に薦めるこの1冊」、大学院生からの投稿など、実に様々な論文・論考が掲載されている。

2.11 「らいぶ」編集委員会

2010年度号(通算第17号)を発行した。本紙は2002年度中に従前の「図書館報」と「らいぶ」を合体させ、学生を主対象にした図書館情報紙として再スタートを切った。その後、ホームページの普及他、諸状況の変化を背景に、2007年度からは年1回の発行となり、内容も主に新入生に向けた読書の勧め、図書館利用の勧めの色合いを強めてきた。このことを踏まえ、ガイダンス期間を中心により多くの新入生に配布することを目指し、部数を従来の3,000から8,000に増刷した。これに伴う経費増については、用紙の薄いものへの変更、一部掲載写真のイラストへの切り替え等により抑制に努めた。記事は、図書館からのメッセージ、教員からの読書のすすめ、先輩から贈る新入生への図書館活用アドバイス、「図書館活用法」履修のすすめ、図書館利用に関わる基本用語集、2010ベストリーダー、第1回書評コンテスト最優秀作品等で、可能な限り平易な読み物に仕上げた。A4版、12頁、2011年3月発行。

2.12 利用案内編集委員会

2010年11月11日に編集委員会を開催し、4種の利用案内を刊行することとした。

「利用案内(本体)2011」15,000部、「OPACユーザーズガイド(2011)」1,800部、「教員用利用案内2011」1,000部、「文献の探し方」1,000部とした。各冊子の内容については、2012年度に和泉新図書館のリニューアルに伴う大幅な見直しが必要となることから、2011年度刊行のものは、現状に齟齬のないよう、マイナーチェンジに留めることとした。発行部数については前年度の印刷部数から残部数を勘案し、決定した。

2.13 生田図書館ギャラリー運営委員会

2011年3月24日に開催を予定していた委員会は、東日本大震災後の諸状況を鑑みて中止とした。代替措置として同会議資料を各委員に送付して個別に検討いただいた結果、2011年度展示企画として応募のあった10件(理工学部8件、農学部1件、国際日本学部1件)及び図書館企画1件についての開催が承認された。